



## 会議概要

2003年12月11、12日に東京(迎賓館)にて開催。  
小泉総理及びASEAN10ヵ国全ての首脳が出席。

## 会議の意義

今回の首脳会議は日本・ASEAN交流年の締めくくりを飾るイベント。  
また、全ASEAN諸国の首脳が域外で初めて集う歴史的な会合。  
我が国のASEAN重視政策は揺るがないとの姿勢を打ち出し、新しい時代の「共に歩み共に進む」率直なパートナーとしての関係を発展させる。

## 具体的成果

日・ASEAN基本文書(仮称)  
今後の日・ASEAN協力の基本的方向性を確認し、日ASEAN関係の指針となるべき文書をASEANと合意する。  
日・ASEAN共同行動計画(仮称)  
基本文書に基づき近い将来実施していく具体的措置をまとめる。  
包括的経済連携(タイ、フィリピン、マレーシアと正式交渉開始を目指す。)

## 主要テーマ

日ASEAN関係の重要性  
政治安全保障における協力  
経済分野における協力  
開発分野における協力  
ASEAN統合イニシアティブ  
メコン地域開発  
東ASEAN成長地域  
社会・文化分野における協力

## 日本とASEANの関係

### 日ASEAN関係の歩み

- 1967年: ASEAN設立
- 1977年: 第一回日・ASEAN首脳会議(福田ドクトリン:「心と心のふれあい」)
- 1997年: アジア経済危機(日本は800億ドルの支援実施を表明)  
第三回日・ASEAN首脳会議(以後毎年開催)
- 2002年: 小泉総理ASEAN諸国歴訪(シンガポールスピーチ:「共に歩み共に進む」率直なパートナー、5つのイニシアティブ。)

### 日ASEAN関係の現状

- ASEANにとり日本は米国と並ぶ最大の貿易相手(2001年 米国21.0%、日本20.2%)。
- 日本にとりASEANは米国に次ぐ貿易相手(2002年 米国23.4%、ASEAN14.2%(13兆4千億円)。
- ASEANにとり日本は最大の域外投資国(1995年-2001年累計 日本21.6%:495億ドル、EU16.8%、1951年からの累積で日本は11兆2373億円)。
- ASEANにとり日本は最大の二国間ODA供与国(2001年 日本:60%、米国8.2%)。
- 日本のODAの28.3%がASEAN向け(2001年、21億ドル)。
- ASEANにとり日本は域外最大の旅行者数(2002年 日本:15%(370万人)、中国11%、米国8%)

